

# シンポジウム 『日常会話コーパス』

2016年9月1日

## プロジェクトの概要

- ❖ 国語研究所共同研究プロジェクト  
『大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的研究』
- ❖ プロジェクトリーダー: 小磯花絵 (音声言語研究領域)
- ❖ 研究期間: 平成28年4月～平成34年3月 (6年間)

### ❖ 研究概要:

日常場面で自発的に生じる会話約200時間を収録した大規模な日常会話コーパスを構築し、それに基づく分析を通して、日常会話を含む話し言葉の特性を、レジスター・相互行為・経年変化の観点から多角的に解明することを目指す。

## 四つの研究班

### 会話コーパス構築班 (班長: 小磯)

日常場面で自発的に生じた多様な日常会話約200時間を収録した日常会話コーパスを構築・公開

研究利用

構築支援・コーパス評価

#### レジスター班 (班長: 山崎)

語彙・文法・韻律などに着目して、話し言葉のレジスター的多様性を研究

#### 相互行為班 (班長: 伝)

会話相互作用の中で文法が果たす役割を、英語会話などとの比較を通して研究

#### 経年変化班 (班長: 丸山)

1950年代の音声資料を用い、文法や韻律などの観点から話し言葉の経年変化を研究

### 会話コーパス構築班 (班長: 小磯)

均衡性を考慮した大規模日常会話コーパス (200時間) の構築・公開

収録 600～800時間 日常場面で自発的に生じた多様な日常会話

コーパス 200時間 データ同期処理・転記テキスト (自動) 単語・係り受け・発話単位

コア 20時間 (人手修正) 単語・係り受け・発話単位 (人手付与) 談話行為

研究利用

構築支援・コーパス評価

#### レジスター班 (班長: 山崎)

語彙・文法・韻律などに着目して、話し言葉のレジスター的多様性を研究

BCCWJ拡張  
発話者情報  
シナリオデータ

既存会話データの整備  
名大会話コーパス

#### 相互行為班 (班長: 伝)

会話相互作用の中で文法が果たす役割を、英語会話などとの比較を通して研究

会話コーパス構築支援  
設計・収録・転記基準  
談話行為アノテーション

#### 経年変化班 (班長: 丸山)

1950年代の音声資料を用い、文法や韻律などの観点から話し言葉の経年変化を研究

昭和話し言葉コーパス  
1960前後・50時間

国会会議録  
1947-2012年